

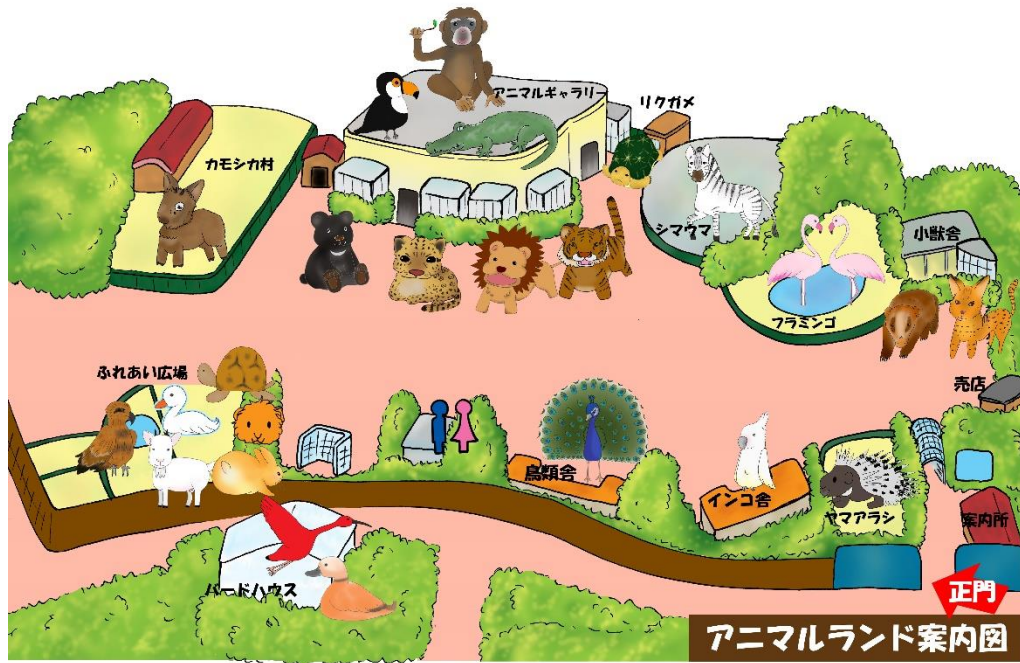
「猛獣たちを津波から守りたい！」

だけじゃない

津波避難棚プロジェクト

わんぱーくこうちアニマルランド

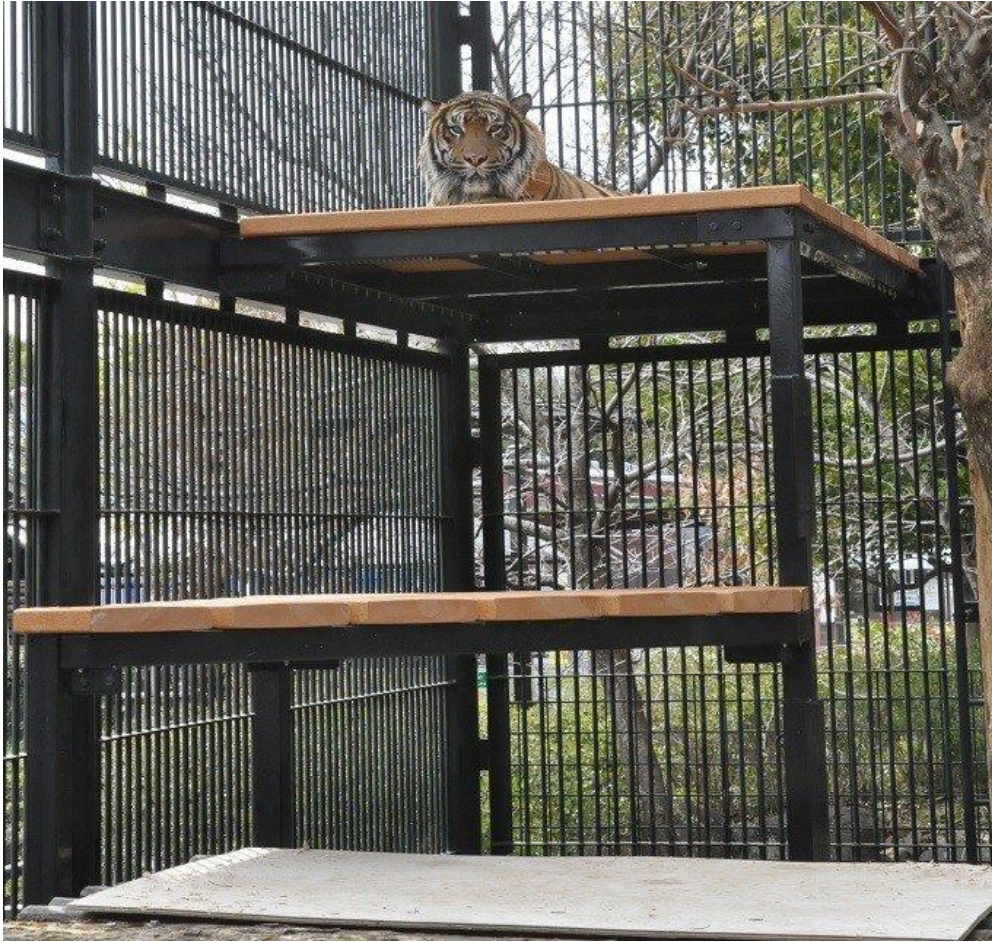
わんぱーくこうちとは



アニマルランドは100種571点（令和2年3月末）の動物たちを飼育しています。都市型のこぢんまりとした動物園ですが本園の一番の強みは動物たちが間近に見られる点にあります。

市街地から近いが、浦戸湾に面した、海にとっても近い立地。そのため南海トラフ地震発生時には津波と長期浸水被害が予想されています。（津波浸水予測：最大約2.7m）

津波避難棚について



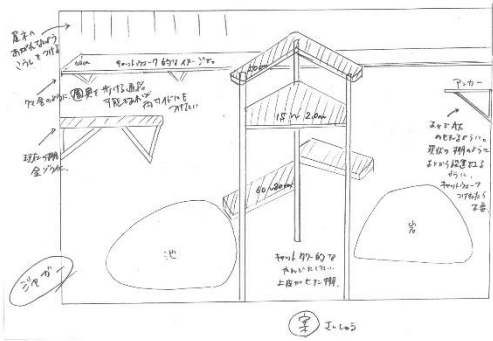
- まず2018年度にスマトラトラ展示場に先行設置。3メートルの高さ。
- 個体の性格上、利用がないかもしれないとの予想、シンプルな設計。
- 設置後は予想に反し、すぐに利用開始。高所の休息場所ができたことにより常同行動の減少が見られました。



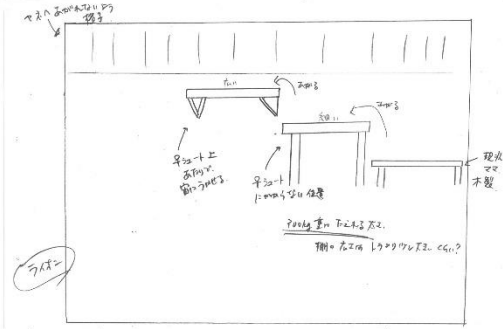
避難以上の効果確認

- 他の猛獣にも設置必要！
- 費用の一部をクラウドファンディングで募集することに。

津波避難棚 + QOL向上も！

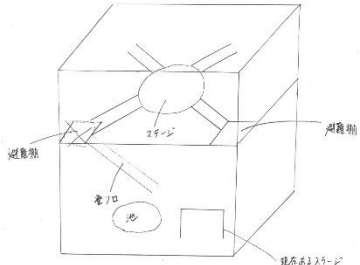


飼育担当者が描いた避難棚案

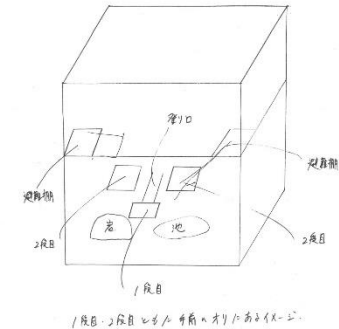


避難棚案

ジガー

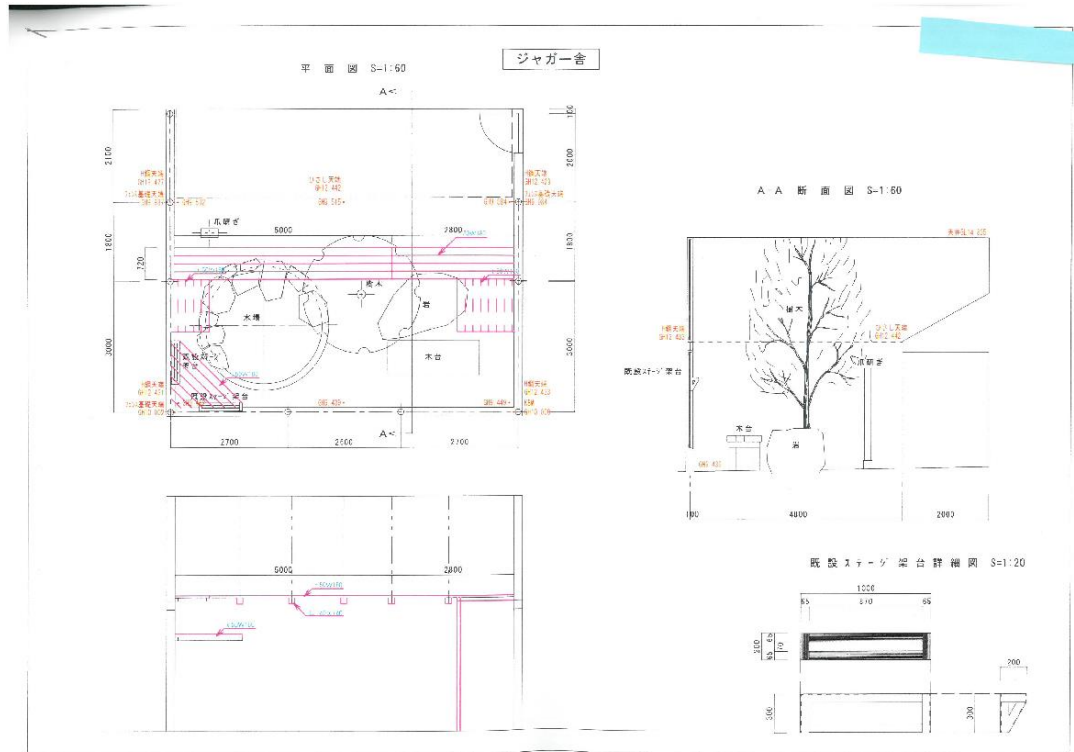


ライオン



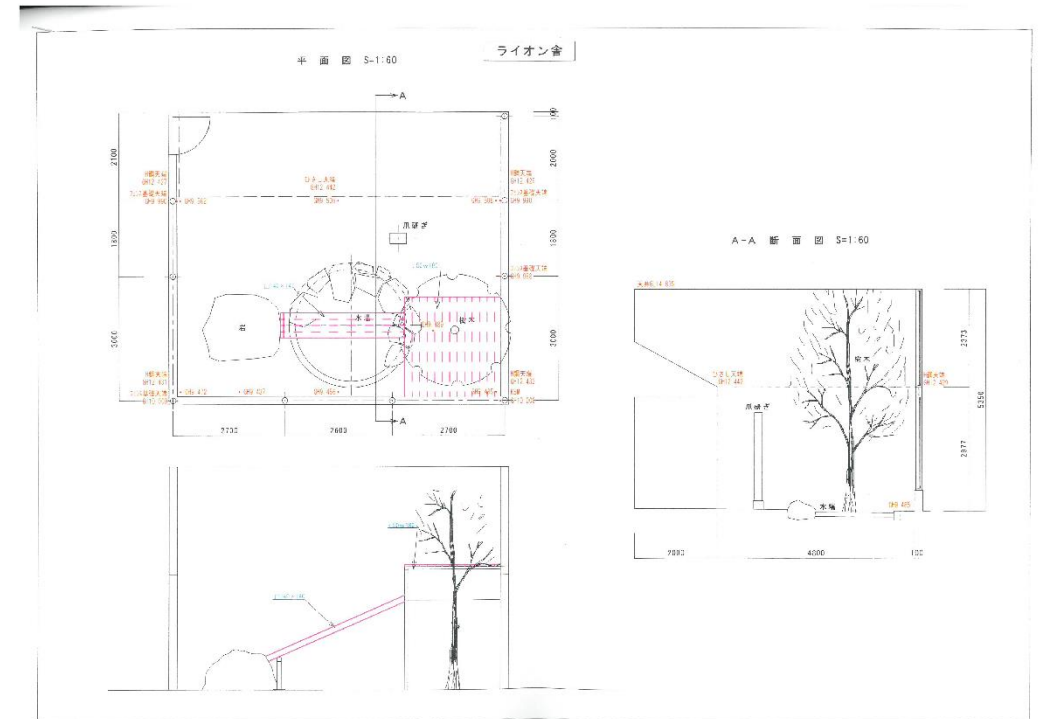
- 当初は津波避難だけを目的としていましたが、トラにおいてエンリッチメント効果が見られたことから、各動物の生態に合わせた空間利用ができるものにしたと考えました。
- はじめに、予算は考えず、生態に合わせた構造物にすることで動物たちが楽しめ、生き生きとした姿が見られるような案を各担当者が絵に描き出しました。
- 案から設計者が設計図を作成。
- ツキノワグマは以前よりエンリッチメントのために高所を利用できるよう設計しており、今回は劣化部分の補修のみ行いました。

津波設計図完成



ジャガー舎

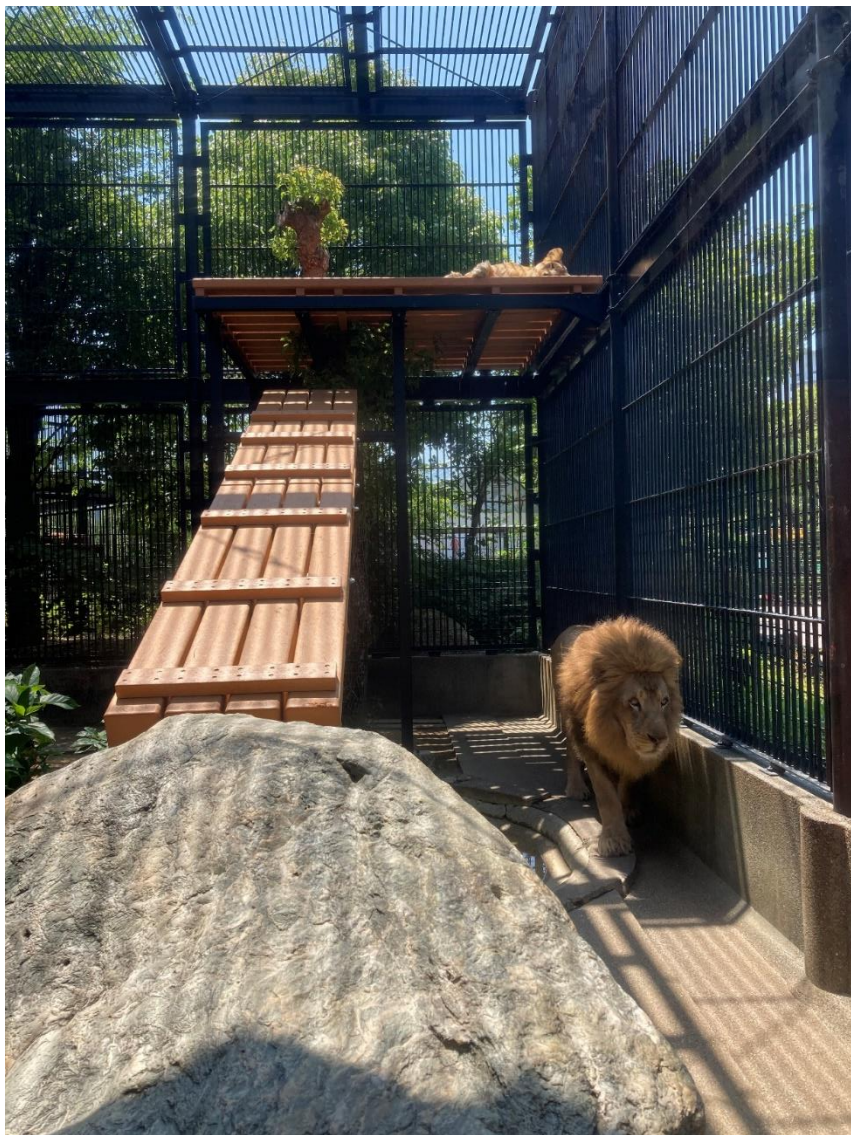
- ・木登りが得意なジャガーは高さを変えた3つの台を宙に浮かす通路で繋ぎました。
- ・子育てにも配慮し、複数個体でも十分な運動量と、単独で過ごせる場所を確保しました。



ライオン舎

- ・2頭同時に乗っても耐えられる頑丈な作り。
- ・ゆったりと寝そべられる広さとし、狭い展示場で最大の緩やかな傾斜になるよう滑り止め付きスロープをつけました。(滑り止めは設計図に無く、工事中に現場確認し、追加設置を要望しました)

津波避難棚 3 基完成！



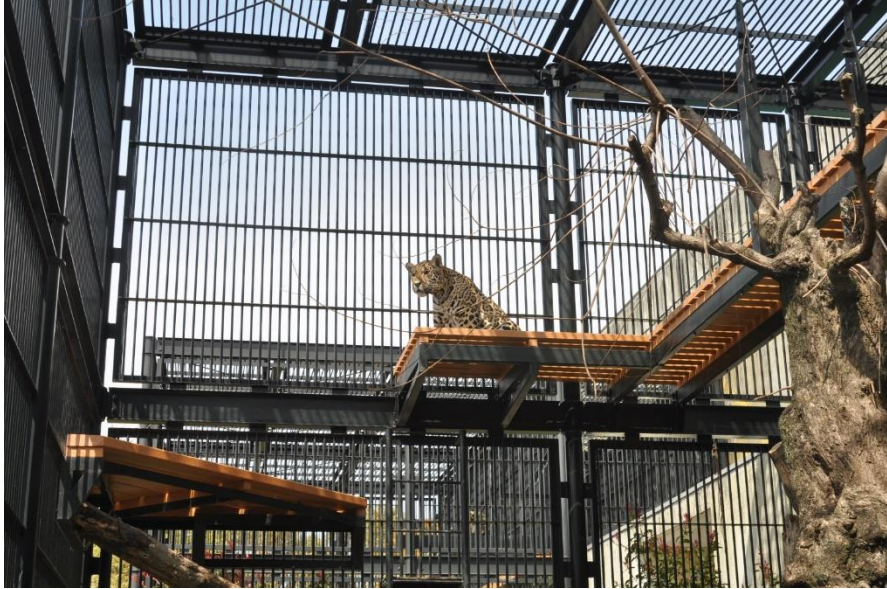
ライオン舎

メスは数日後に利用開始。
真夏の日中以外は、ほとんど毎日のように利用中

担当飼育職員がスロープを実際に上ってみて、上りはいいが下りはライオンの体重だと足に負荷がかかりすぎる傾斜と判断、急遽余った材で滑り止めを追加設置してもらい、完成しました。



津波避難棚 3 基完成！

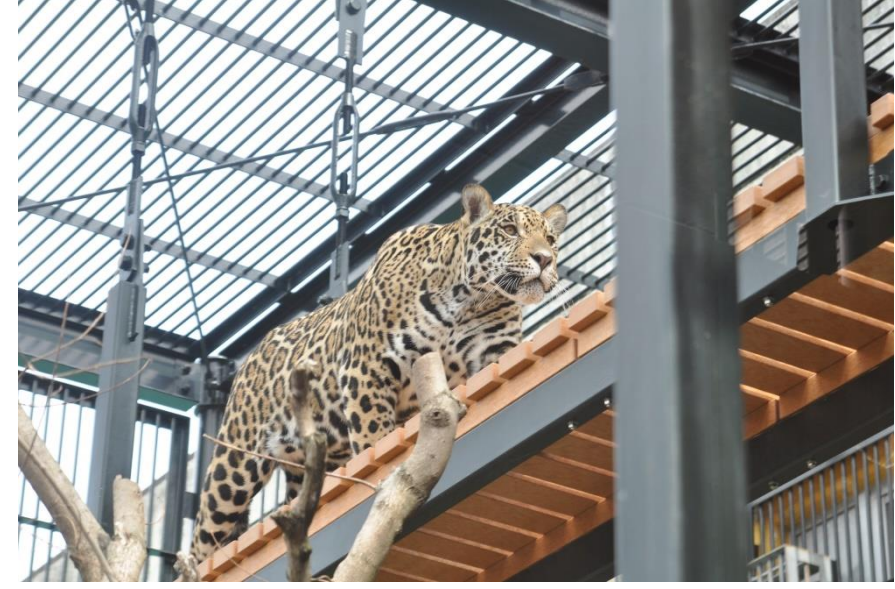


ジャガー舎

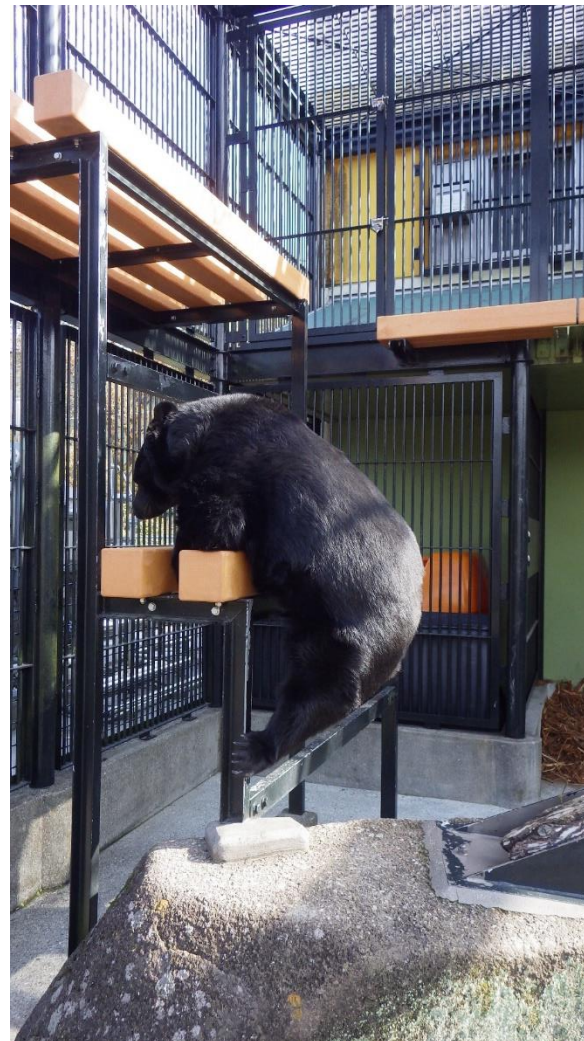
複数個体でも十分な運動量を確保し、単独で過ごせる場所ができました。

前回子育て時には、1歳頃から母個体から仔への攻撃が見られ分離することになりましたが、避難棚設置後の今回の子育てでは、1歳4か月の搬出前日まで同居を継続できました。

活動範囲の拡大で、母個体のストレスが軽減、落ち着いた育児につながったと考えられます。



津波避難棚 3 基完成！



ツキノワグマ舎

他2種と違い新たな設計ではありませんが、写真の位置の棚は木材が腐食し撤去していたため、再び利用ができるようになり行動範囲が広がりました。

高齢个体のため頻度は少ないものの、3メートルの位置の棚の利用も確認しています。

さいごに

- 生態に合わせた設計とすることで、

- ①生活の質の向上

- ②子育ての安定

津波から逃げるためだけの施設ではない、日常に役立つ設備とすることができました。

- クラウドファンディング返礼品として、全員にオリジナルポストカードを送付しました。

一万円以上の寄付者に津波避難棚完成おひろめ会を予定していましたが（2020年5月）、新型コロナウイルス感染症の影響で開催延期中。決まり次第告知します。

- 動物たちが利用している動画は、高知市役所公式YouTubeにて公開していますので、ぜひご覧ください！